



NO.

# いちよう

発行所

待乳山 本龍院

〒111 東京都台東区浅草7-4-1

-0032 TEL. 03(3874)2030

FAX. 03(3874)5280

禅悦為食 法喜充滿

住職 平田真純

仏教各宗派の修行や研修等において、食事作法、食への心構えは、とても大事にされます。食事というものは、生命を維持するために一日も欠かせない営みであるからこそ、それに対する心は大切であり、仏道の真隨に通ずる行ともなります。待乳山の朝まいり会で、毎月ご信徒のみなさまと行う齋食儀では、天台宗の食作法で行っています。この作法の意義を表す文句として、お勤めでは次のような偈文を称えます。

「若粥食時 当願衆生 禅悦為食 法喜充滿」

《若し粥を食すとき 当に願わくは衆生とともに 禅の悦びを食と為し 法の悦びを充滿せん》

「禅悦」と「法喜」は、法華経等の大乘經典に説かれる重要な言葉です。

「禅」とは「禅定」のことであり、心静かに瞑想し

て、心が安定した状態ということではありますが、私たちの普段の生活に即していえば、「雑念のない状態」となるでしょう。

また「法」とは、仏さまの悟られた真理・法則とも説明できますが、ここでは、「この世の中の真実のありさま」と捉えてみましょう。

すなわち、この食事を、雑念を捨ててすっきりした気持ちの悦びをもっていただくことで、この世の中のありさますべてを受け入れることができ、それが、多くのご縁によって生かされていることを感謝し、喜びに満ち溢れることにつながるのですよ、ということではないでしょうか。

そしてその感謝の心、喜びの心が生ずるから、貪りの気持ちを抑えられ、他のために身を養おうという気持ちが生じ、仏道の目的に近づいてきます。

食事作法という仏道修行で語ると、以上のようにややカタくなりますが、実は人間関係の融和にも、仕事や事業の成功にも、心身の健康にも、すべてに通ずる教えであると思います。感謝と喜びで、人生を豊かにしたいものです。

# 待乳山だより

## 安全講特別公演ご報告

四月十七日、安全講

法要終了後、大広間に  
て、熊澤南水さんによ  
る朗読の会「南水ひと  
り語り」を催しました  
熊澤南水さんは、お  
よそ三十年全国各地  
で公演を行ってきた  
朗読家。その活躍から



平成二十三年には、吉永小百合さんとともに、  
下町人間庶民文化賞を受賞されました。また、  
浅草の洋食店「ヨシカミ」の先代女将でもあ  
ります。

今回の公演では、浅草と向島を舞台にした  
平岩弓枝さんの短編小説、「ちっちゃなかみさ  
ん」を語っていただきました。熊澤南水さん  
の朗読はなんと台本を一切見ない暗唱。まっ  
すぐに客席を見ながら語る南水さんの言葉を、  
聴衆も静かに聞き入っていました。物語が佳  
境に入ると、中には泣いてしまう方も…。熊  
澤さんの見事な話芸に皆さん満足されたよう  
です。

## 世話人往來

阿部左知子様を新たに写経の世話人として  
任命いたしました。  
これからよろしくお願い致します



## お宮参り

うらかな

日差しが差し込む四月十五  
日、横光照葉ちゃんのお宮  
参りを行いました。尊天様  
のご加護ですくすくと成長  
されることをお祈りして  
ります。お宮参りは予約に  
て受け付けております。

法要料 五〇〇〇円

## 奉納

白井美智子様よ

り茶杓を御奉納いただき  
ました。大事に使わせてい  
たきます。



## ホームページ、メールアドレス変更のお知らせ

待乳山聖天のホームページアドレスとメー  
ルアドレスが次のように変更になりました。

【ホームページ】<http://www.matsuchiyama.jp/>  
【メールアドレス】[honyuin@matsuchiyama.jp](mailto:honyuin@matsuchiyama.jp)  
古いアドレスは使えなくなりますので、登  
録されている方はお早めに変更していただ  
くようお願いいたします。

日本では古来より神仏の意見を伺うために  
くじ引きを行っていました。

平安時代の天台宗の僧侶、元三大師が観音  
菩薩に祈念したのが、おみくじのルーツであ  
る元三大師御籤です。待乳山もこのおみくじ  
を使用しております。

大事なお願い

や勝負事の吉凶  
を占う際はどうか

しても「大吉」「凶」

といった、運勢の

良い悪いだけに

注目してしまい

ますが、おみくじ

とは本来、神仏から教えを授かるためのもの  
です。単に結果に一喜一憂するだけでなく、

おみくじの内容から学ぶ姿勢を忘れないよう

にしましょう。もし内容がわからない場合は、

お気軽にお坊さんまでお尋ねください。

朝まわり会 五月度表彰者（敬称略）

半年 岩井衣公子 一年 渡邊洋一

二年 安部かおり

五年 竹内大樹 山形公二

十年 佐藤加代 島田信昌



# 待乳山本龍院 六月の行事

## 歡喜地藏尊供養会

六月二十四日（金）午前十一時

講金 一、五〇〇円

六月二十四日、歡喜地藏尊供養会を執行いたします。当日は、参道の入り口と中庭の山内二か所の地藏堂をご供養いたします。

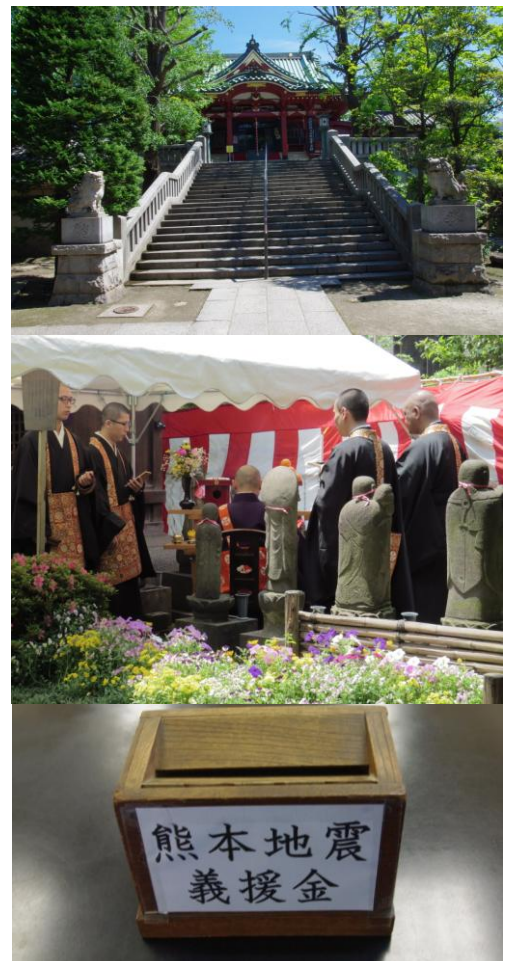
お地藏様は正式には地藏菩薩と呼ばれます。お地藏様の「地」は母なる大地、「蔵」は包み込むという意味を持ち、あたかも母親のように苦しむ人を慈悲の心で包んで救うことから名付けられました。

このように弱い立場の人を救う仏様である地藏菩薩は、特に幼い子供と縁の深い仏様です。親の願いを受けて、子供の成長を見守る他にも、賽の河原で苦しむ子供たちを成仏させる役割も持っています。

私たちのよく知るお地藏様は頭を丸め袈裟を着ただけの素朴な僧侶の恰好をしています。その中でも特徴的なのが赤いよだれかけです。これは、なるべく幼い子供が親しみやすいように、近い場所です導けるようにと、赤子と同じ衣装を身に着けているのです。

当山の地藏菩薩も子育て地藏として多くの親御様からお子様が無病息災を祈念されてきました。

講にお申し込みの方には諸難除けの腕輪念珠を授与いたします。ご家族の分も合わせてお申し込みください。皆様の参加をお待ちしております。



## 平成二十八年熊本地震に際して

この度、四月十四日に発生した「平成二十八年熊本地震」により被害に遭われた皆様方に、心からお見舞い申し上げます。また被災地に復興支援に携わっている方々に深く敬意を表します。

熊本で先行きの見えない避難生活を送られている方々の不安は、想像を絶するものでしょう。

なんとか助けたいと思う一方、直接被災地を助けることのできる人ばかりではありません。日常生活を送る我々は連日の報道を目にする、ともすれば無力感に囚われがちです。そんなときこそ神仏を通して、被災地に気持ちを寄せることが重要なのではないでしょうか。当山でも日々のお勤めの中で、住職始め従業員一同被災地の復興を祈念しております。

待乳山本龍院では、この災害で被災された方々を支援するために、本堂と寺務所にて義援金を受け付けております。皆様の暖かいご支援をよろしくお願いいたします。

# 六月行事予定

**御縁日大法要 地藏供養会** 六月二十四日(金) 午前十一時講 金 一、五〇〇円也

歓喜地藏様をご供養し、特にお子様の無病息災を祈願致します。

**朝まいり会** 六月一日〜七日 午前八時から八時半 会費 月 五〇〇円也

都合のよい日に、ご参加くださっても結構です。最終日には、誦誦終了後に食事作法を行います。

**日曜勤行** 六月十二日(日) 午前九時 参加費 無料

初心の方も気軽にご参加いただけるおつとめの会です。

**写経の会** 六月十二日(日) 午前十時/午後二時 会費 五〇〇円也

心を落ち着かせて写経することで、日常を離れ、自分を見つめ直しましょう。

**坐禅の会** 六月二十五日(土) 午後六時〜八時 定員三十名 参加費 五〇〇円也

定員になり次第、募集を締め切らせていただきます。

**合同大般若法要** 六月二十五日(土) 午前十一時 法要料 五、〇〇〇円也

心願が成就し、より一層の御加護を頂くために、皆さんとご一緒にお上げする御礼の法要です。

**七月の行事** 御縁日大法要 出世観音供養会 七月十七日(日) 午前十一時 講金 一、五〇〇円也

常香大法要 七月二十日(水) 午前十二時 講金 一、五〇〇円也

## ご祈禱のご案内

聖天様独特の供養法である浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力がより一層高められ、私どもが不可能と思われるような願い事でも、孫天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。

当山ではこの浴油祈禱を、毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈禱期間をお伝え下さい。

またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

## 祈禱料

別座祈禱 壹万円以上(一週間)

浴油祈禱 三千五百円以上(一週間)

華水供 五百円/一日